

モスクワ国立国際関係大学
交換留学報告書

静岡県立大学 国際関係学部 国際言語文化学科
3年 アジア文化コース

モスクワで3ヶ月滞在し、語学力が上達したことはもちろん、現地の人との交流で充実した。

新学期にはクラス振り分けテストがあり、8つのクラスに分かれる。私は3番目のクラスで8コマの授業があった。先生は時々英語でわかりやすく教えてくれるが、それでもわからないときはクラスメイトが丁寧に教えてくれるので助かった。クラスにフランス人、韓国人、ドイツ人、スイス人、イタリア人、そして途中から参加したアルメニア人がいた。授業を進めていくと留学生の出身国の文化もできておもしろい。

最初はどの先生のいうことは半分もわからず苦労したが、慣れていくうちに説明がわかるようになった。リスニング力があがると会話も少しずつできるようになっていき、ロシア語の勉強がもっと楽しくなった。

留学中は意外と自由時間が多く、時間の管理をしっかりしないと怠けがちだった。もっとたくさん出かけてロシア語を使えばよかったと思う。モスクワは見所が非常に多く、建物の建築様式が独特なので街中を歩くだけでも楽しい。

毎週ショッピングモールでロシア人と日本人の交流クラブがあり、それでロシア人に日本語を教え、ロシア人にロシア語を教えてもらった。よく文法について聞かれるが日本語の文法を日本語で説明するのも簡単ではないのにそれをロシア語で説明するのは難しすぎた。勉強だけでなく、休日に一緒に遊びに行くこともあるので楽しい。そのほかにも大学の日露交流会でもイベントをやったり、ご飯に行くことがあった。やはり日本のアニメが好きな人が多いのでアニメに詳しいと仲良くなりやすい。

日本から2人でモスクワに行ったので真冬になる前に留学を終えることになったのは少し残念だが、勉強や異文化交流などで非常に充実した滞在になった。今後はもっと色々な文化背景をもつ人に出会い、交流を深めていきたい。